

◎学校での様子を毎日話してくれて、担任の先生のおかげで積極的に挑戦するようになり、すごく成長を感じることができました。

◎担任の先生は相談等に対し誠実に対応してくださり感謝しております。

◎子どもたちのよい点をしっかり認めてくださり、伸ばしていただいている指導にとても感謝しております。褒められたり成果が見られたりすることで子どもたちの自信へとつながり、満足感、達成感、今後の意欲へとつながっていると思っています。

▲携帯電話については、いつ、どこで、どのような災害が起こるか分からない中、命をつなぐ道具になり得るので、改善が必要であると思う。

▲急遽迎えに行けなかったときや、送迎等で子どもと連絡をとりたいときがあり、大変困ったときがありました。学校が終わって、送迎の時だけでも携帯電話を使用できるようにしてほしいです。

【学習について】

◎学習面で、自分より上の子がたくさんいるので、刺激になっていると思います。

▲学習の理解度に個人の差がありすぎるように感じる。(小学校の時は、例えば算数の時にクラス分けをしていた。)

▲ある一定の教科の学習時間、内容が少し足りないと感じる。

▲秋田県の学力は第一回以来、今まで13年連続でトップクラスの結果を出しているが、それは小生まで。小学生は担任の他に副担任を設け、授業中、分からない、手が止まっている生徒に対して指導しているからです。基礎となるのは小学校で学んでいるが、中学校も副担任を設け指導していただきたい。高校進学にも関わること大事なことだと思う。なぜ中学校になると学力が落ちるのか、考えるべきではないでしょうか。

▲家庭学習(自学ノート)は、余り意味がない。(ただ、ページを埋める作業のような状態)

【生徒指導について】

◎生徒は元気にあいさつをしてくれるので、よいと思います。

◎学校から電話がくるとびっくりしますが、家では学校のことを話さないで、トラブルやケガなど知らせてもらえてありがたいです。

◎クラスメイトとトラブルがあったとき、素早い対応をしていただき、本人も納得し学校へ通えるようになりました。ありがとうございました。「はばたき」での担任の先生とのやりとりが嬉しいようで、楽しそくに書いています。お忙しい中、一人一人に返事をしていただきありがとうございます。心を開いて話せる場になっているようです。

▲スマホを学校、大会、練習試合などにもってきている人がいるそうです。グループLINEのやり取りが多く、常に誰かがメールをしているので着信音が鳴りっぱなしで感じのときが多くあります。21時を過ぎると減りますが、遅くまで使用している人もいます。ルールを決めても自由に使える人がいると、なかなかルールを守ってくれないときもあったりして、悩むところです。

▲スマホを持ち歩いて下校している生徒をたまに見かけます。冬、雪だまを投げ合っている生徒がいて、冷や冷やします。

▲自転車の乗り方が危ないと感じた。玄関前で迎えの車が数台停まっている中をすごいスピードで乗っている子を見た。

【学校行事について】

◎コロナ禍でも運動会、学校祭、雪中綱引きが開催され生で見ることができてよかった(全校多数)

◎学校行事は一人一人が真剣に取り組む姿がみられました。

◎学校行事、運動会や球技大会など、その都度いろいろ話してくれるので楽しみにし、また楽しんでいるのだと感じています。

◎運動会については、学年ごとに保護者観覧場所が分かれているのがよい。東雲祭については、コロナ禍の中、対策をよくやっている。雪中綱引きの後の強歩大会は必要でしょうか。

◎コロナの影響で運動会は午前になったが、コンパクトになったことで親も子も一日中の行事にならないので、負担が軽くなってよいのかと思う。

◎コロナの規制もだいぶ緩和されたせいか、職場体験等実施できたことがよかったなあと思います。

▲雪中綱引きについて、伝統は大切だが、コロナやインフルエンザの流行や天候など、その時の状況で室内での開催、または中止としてもよいと思う。進路指導について、コロナ禍で仕方がないことだが、わざわざ遠くまで自転車で行って午前のみ体験では、子どもたちも物足りなさを感じているのではないか。

▲東雲祭の内容が合唱とどっこいしょ東雲、作品展示に限られてしまっているのでは、もう少し「楽しむ」というコンセプトが必要ではないか。

【健康安全について】

◎欠席した際のお電話やお声かけ、ありがとうございます。

◎徹底した消毒、検温などで、感染者を増やすことなく行事を実施できたことが成果だと思います。

【部活動について】

◎人数が少なく指導が難しい面もあるかと思いますが、部員同士も仲良く意欲をもって取り組んでおり、指導に感謝します。上級生も部活だけではなく、学校生活でも積極的な姿を見せてくれて、目標にできる存在でいてくれることをありがたく感じています。

◎コロナで部活動が制限される中、仲間や先生と協力してよくやっていたと思います。

▲大会、練習試合等の予定はもっと早く連絡がほしいです。翌月の仕事の休みの取得等(複数)

▲生徒数が減少し先生の人数も減ってきた。団体戦が組めなくての大会不参加や普段の練習に支障が出ている部もある。教頭先生も部活動の主担当である。部活動数を見直す時期では？

【その他】

◎コロナ禍の中で、情報開示等はスムーズに行われていると思う。

※進路学習では、中1で地域の特性や将来の夢の実現のために必要な資格や年収調べを行い、将来つきたい職業が明確な場合は、可能な限り2年3年で体験や見学ができればよいと思う。